

おおだて市議会だより

令和7年2月1日 155号



動画配信始めました。



詳しくは2ページをご覧ください。

動画配信について・議案等の審議結果	▶ 2
一般質問	▶ 5
常任委員会から	▶ 12
議会報告会のお知らせ	▶ 13
私もひ・と・こ・と	▶ 14



動画配信

始めました

令和6年12月定例会から、本会議の動画配信を始めました。本会議の様子はYouTubeで視聴することができます。

(大館市のホームページにもリンクがあります。【大館市議会▶本会議映像 (YouTube動画配信)】)

大館市議会 YouTube



クリック!

現在公開中の動画

【令和6年12月定例会】

- ▷令和6年11月25日 開会日 (議案の上程ほか)
- ▷令和6年12月 2日 一般質問
- ▷令和6年12月 3日 一般質問
- ▷令和6年12月12日 最終日 (議案の審議ほか)



大館市議会YouTube公式チャンネル



12月定例会の議案等の審議結果

会期
11月25日～12月12日
(18日間)

市長提出議案は、報告1件、専決処分の承認1件、条例案6件、単行案9件、補正予算案21件、人事案件2件の合計40件でした。

専決処分の承認

認 第10号 専決処分の承認について (令和6年度大館市一般会計補正予算(第7号))

承認

条例案

議案第160号 戸別浄化槽整備事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例案

議案第161号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例案

原案可決

条例案（続き）

原案
可決



- 議案第184号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第185号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第186号 大館市職員の給与に関する条例及び大館市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第187号 大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案

単行案

原案
可決



- 議案第162号 議決内容の一部変更について（大館市本庁舎建設事業外構整備工事の請負契約の締結について）
- 議案第163号 財産の取得について（土地 清水堰添10番1 外28筆）
- 議案第164号 大館市定住自立圏形成方針の変更について
- 議案第165号 大館市へき地保育所の指定管理者の指定について
- 議案第166号 大館市比内福祉保健総合センターの指定管理者の指定について
- 議案第167号 大館市斎場及び大館市ペット霊園の指定管理者の指定について
- 議案第168号 市道路線の廃止について（番屋台線 外2路線）
- 議案第169号 市道路線の認定について（番屋台線 外4路線）
- 議案第170号 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の変更について

補正予算案

原案
可決



- 議案第171号 令和6年度大館市一般会計補正予算（第8号）案
- 議案第172号 令和6年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第181号 令和6年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案
- ほか特別会計・企業会計補正予算案など18件

CHECK!



補正予算の主な内容（千円未満は省略）

- | | |
|----------------------|------------|
| ・ 障害者自立支援給付費 追加 | 1 億9,718万円 |
| ・ 中学校教員用指導書等購入費 | 2,267万円 |
| ・ 知事選挙費 | 1,966万円 |
| ・ 大館能代空港運賃助成事業費 追加 | 1,100万円 |
| ・ 大館駅インランドデポ推進事業費 追加 | 914万円 |
| ・ 学校給食費物価高騰対策補助金 追加 | 885万円 |
| ・ 小中学校LED照明化事業費 追加 | 642万円 |

など、12月議会では特別会計・企業会計を含めて全部で
10億3,265万3,000円の歳入歳出予算の補正がありました。



請願・陳情の審議結果（不採…不採択、趣旨…趣旨採択、継審…継続審査）

番号	件 名	採 択	不 採	趣 旨	継 審
請願第2号	大規模災害による農地・農産物等の継続的補償制度を国に求める請願書			○	
請願第3号	四十八滝温泉及び雪沢温泉郷の利活用を求める請願書			○	
陳情第3号	学校給食費の無償化を求める陳情書				○
陳情第6号	日本犬・秋田犬の保存・振興に寄与する広報の一環の実施		○		
陳情第7号	学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編成標準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについて			○	
陳情第13号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情			○	
陳情第14号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める 陳情書			○	
陳情第17号	学校給食費の無償化を求める陳情書				○
陳情第18号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情				○
陳情第20号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情	◎			
陳情第21号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情	◎			
陳情第22号	健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情		○		
陳情第23号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情				○
陳情第24号	「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書				○
陳情第25号	「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情				○
陳情第26号	「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情	◎			
陳情第27号	生活保護「水際作戦」の実態調査についての陳情		○		
陳情第28号	デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出についての陳情				○

(◎は意見書提出)

大館市議会から政府に意見書を提出しました

- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書
- 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書
- 18歳までの医療費窓口負担の無料化を国の制度として実施を求める意見書の提出



都市再興基本計画について 有機農業の振興について



よし だ ゆういちろう
吉田 勇一郎
(令和会)

〔問〕 国外には人口2～5万人の町

が点在する地域でも、公共交通を便利にすることで町なかのにぎわいを取り戻した地域がある。交通を軸にしたまちづくりの計画策定手法は世界1000の都市で採用されている。国内の小規模自治体でも、バスの路線と便数を増やし、200円の統一料金を導入して利便性を強化した備前市の事例がある。本市でも公共交通の利便性を高めることで、マイカーから公共交通への移行を促進し、カーボン・ニュートラルを目指す計画にはどうか。

〔市長〕 地方創生の推進とまちのにぎわいを持続可能なものとするため、AIオンデマンド交通mobiの実証運行、田代地域の公共交通再編、自動運転車両の実証運行などを展開してきた。また、マイカーから公共交通への移行を促進するため、バス事業者へのICカード導入

補助、免許返納者へのバス定期券・タクシー利用券助成を行っている。市民・企業・交通事業者と一体となった取り組みを進め、公共交通の利便性を高めていく。都市再興基本計画はカーボン・ニュートラル推進の視点を持ちながら評価・分析し、8年度から見直しを行う予定である。

〔問〕 オーガニックビレッジ宣言を目指してはどうか。

〔市長〕 令和4年度から水稻、山の芋の有機実証栽培を進めているが、雑草や害虫への対策に多大な手間がかかり、慣行栽培と比較すると収量が大幅に減少し、品質の低下も見られるなどの課題が明らかになった。栽培方法の改善、土作りなどの技術習得、デジタル技術の活用など、情報収集と生産者への情報共有に努めていく。

〔問〕 大館産有機農産物の学校給食での活用を拡大してはどうか。

〔市長〕 食のふるさとキャリア教育、地産地消を推進する観点からも非常によい方向と考える。学校給食に昨年度は有機米を750キログラム、今年度は1470キログラム提供しているが、これは学校給食に使用する主食用米48トンのうち、わずか1・6％程度であり、まずは供給体制の整備が必要と考える。

一般質問

市のホームページに掲載する会議録でもご覧いただけます。（2月下旬に掲載予定）



大館神明社例祭が平日に開催された場合は 小・中学校を休校にすべきでは 大館市農作物等獣害防止防護柵設置事業補助金について



はな た つよし
花田 強
(市民の風)

の伝統文化やその思いに触れることができる貴重な世代間交流の場であると受け止めている。学習指導要領に示された学習内容と関連付け、教育活動として位置付けたり、祭典当日に振替休日を充てるなど工夫をしているので、一律に休校は考えていない。

〔問〕 近年イノシシが急激に増えており、特に水稻の被害が多発している。農業従事者にとっては深刻な問題となっているが、大館市の補助対象品目をみると、果樹・野菜・比内地鶏と限定されており、水稻は対象外である。県内25市町村のうち、大館を除く17市町村は水稻も対象としており、米不足解消の観点からも稲作農業者も対象にすべきと考えるが市長の見解は。

〔市長〕 この補助制度は、有害鳥獣による果樹被害が深刻化した平成29年にJAあきた北からの要望を受け30年4月に制度化したもので、当時被害の大きかった果樹・野菜・比内地鶏を補助対象として、電気柵の資材購入等に要する経費の2分の1を、10万円を上限に補助している。近年イノシシによる農作物被害が増加してきており、水稻も来年度から補助対象とする。

〔問〕 大館神明社例祭は400年以上続くといわれる伝統の秋祭り、本年も各町内や団体でつくる講から、華やかに装飾された13台の山車や子どもみこしが出された。例祭では山車の引き手、踊り子、太鼓や笛などのおはやし手など参加者の確保が必要不可欠だが、例祭のために休校した学校としなかつた学校があり、地域によって対応がまちまちである。ふるさとキャリア教育にも位置付けられている例祭は、子どもたちが関わることで地域への愛着を深め、重要な課題である若者世代の定住や将来の都心からのUターンで戻ってくるきっかけにもなりうる大切な行事である。平日に開催された場合、関わる学校を休校にすべきと考えるが、教育長の考えは。

〔教育長〕 大館神明社祭典は、先人たちが守り伝えてきた大館囃子など

不登校対策について 合葬墓について



そうま えみこ
相馬 エミコ
(市民の風)

〔問〕 県内の国公立小・中学校の2023年度の不登校児童生徒数は小学校644人、中学校1303人の計1947人で過去最高となっており、前年度から小学校で164人、中学校で217人も増え、驚いている。県内の不登校の増加率は全国平均を上回っていることから早急に対策を考える必要がある。本市の不登校の現状を伺う。また、秋田市では情報通信技術を活用して支援しているようだが、本市でも活用してはどうか。不登校児童生徒への対応について、どのような指導をしているか伺う。

〔教育長〕 全国的に不登校児童生徒数が急増しており、小・中学生の不登校児童生徒数は35万人ほどで、前年に比べて5万人ほど増えている。本市でも119人で前年度より8人増え、憂慮すべき状態にあると認識している。不登校に陥った子どもた

ちは、心理的に生活全般に対する意欲が低下し、ネット・ゲームの世界に没頭し、学習意欲が喪失している状態の子どもが多いのが実態である。不登校児童生徒に対し、オンラインによる授業も可能と伝えているが、要望はほとんどないのが実情である。不登校児童生徒の回復支援措置として、校内支援体制を構築するとともに、少年相談センター、おとり教室、スペースイオ大館、リフレッシュ学園などの相談機関、スクールカウンセラー等による支援を行っている。今年度、不登校を脱した児童生徒数は20人に達している。

〔問〕 斎場整備事業により、令和8年度から新斎場を供用開始する計画だが、併せて合葬墓も整備できないか。当局が実施したアンケートでは6割の人が「合葬墓は必要である」と回答している。一人暮らしが増え、亡き後に墓を守る人がいない深刻な問題である。合葬墓について市長の考えを伺う。

〔市長〕 お骨を引き取る者がいないなどの理由でお墓の管理が難しくなり、設置を望んでいると考えている。現在、課題の多くは改葬や永代供養で対応できているが、葬祭に関する考え方は多様化してきているため、墓園の在り方を検討していきたい。

大館市議会YouTube

検索

クリック

一般質問



いとう れい
伊藤 励
(市民の風)

〔問〕 幼少期から家庭でYouTubeを見て育つ子どもたちが増え、デジタル教材で学ぶ小学生が当たり前になりつつある。1月開催の青少年の主張では、もっとSNSを活用し魅力をPRしてほしいとの要望もあった。また、町内会長の変更後、各課からの案内が前会長の自宅に届く事例もある。情報発信・共有に特化した専任部署新設について、市長の考えを伺う。

〔市長〕 市では広報やホームページを基軸に各SNSでの情報発信に取り組んでおり、ラインの活用も検討中である。専任部署新設については、民間の力を活用し事務事業を効率化することが望ましいと考える。また、行政協力員を介して得た町内会長の変更情報は、個人情報取り扱いに注意した上で随時共有していく。町内会の維持や活性化に向け、実情を把握し連携を進めていく。

〔問〕 多くの子ども会が町内会に依

情報発信・共有専任部署の新設
地域の担い手確保と連携強化
桂城公園のステージ解体後のイベント広場活用

存しており、町内会がなくなると活動が停止する例がある。コロナ禍や少子化、保護者や会長の多忙により行事が開催できない町内もある中、町内会長からは担い手確保や存続への懸念が寄せられている。他県の子ども会では高校生までを対象としており、地域愛を育む効果がある。小・中学生に町内会活動を周知し、高校生までの子ども会活動を通じ定住促進を図るべきと考える。市長の考えを伺う。

〔市長〕 全国子ども会連合会では、子ども会の対象を乳幼児から高校3年生までと定めているが、市では多くが小学校卒業とともに子ども会を離れる。中学生が地域活動に参加し地元への思いを強める機会を増やすため、関係機関と連携し有効な支援を検討する。

〔問〕 桂城公園のステージでは桜まつりのバンド演奏や鳳鳴祭の仮装行列が行われている。新設するイベント広場でも引き続き開催できるように周知をお願いしたいが、市長の考えを伺う。

〔市長〕 解体するステージに代わり、イベント広場ではさまざまなイベントが開催できるよう、バリアフリーにも配慮した公園全体の整備を進め、幅広く皆さまに喜ばれるよう取り組んでいく。

おおだて未来づくりプランについて



たなか こうたろう
田中 耕太郎
(令和会)

〈問〉「子や孫世代と共に栄える大館」実現のために、今後の方向性やアップデートが必要な施策は。

〔市長〕 まずは定住人口の確保と若者流出対策に向け創業支援の取り組みを加速させたい。全国に広がるネットワークを生かし大館の魅力と潜在力をPRしながら、新たな雇用の創出につなげたい。

〈問〉大館には時間がないというならば、アーケードや建物の老朽化、空洞化が一段と進む大町商店街の再興など、中心市街地の活性化を今こそ急ぐべきではないか。

〔市長〕 道路や水道、下水道などのインフラが整っている強みがあるため、大館商工会議所の協力を得ながら空き店舗情報を発信するとともに、創業支援での利活用につなげたい。今ある資産や都市基盤を生かし、

多様な業種の参入や新たな試みを支援する。

〈問〉地方創生にかなう新たな道の駅創設に前市政では意欲的に取り組んでいたが、今後の事業化へ向けた考えはあるか。

〔市長〕 国土交通省能代河川国道事務所が策定した米代川水系河川整備計画で、防災関連施設設置予定個所として新たに大館市が位置付けられており、情報発信や水防活動などを通じて、道の駅と防災ステーションが一体となった拠点となるよう検討する。



一般質問

市のホームページへ掲載する会議録でもご覧いただけます。（2月下旬に掲載予定）



さとう かずゆき
佐藤 和幸
(真政会)

〈問〉子どもや若者、子育て当事者の意見を政策に反映するためにアンケートを実施してはどうか。

〔市長〕 来年度以降に取り組む大館市こども計画の策定においては、当事者のみならず企業や地域社会のさまざまな層から幅広く意見を聴くために、アンケート以外にも座談会などの手法も含めて検討する。

〈問〉今こそ、こどもまんなか社会の実現に向け、複雑化する社会課題を横断的に取り組むことができる大館市家族会議を開設すべきと考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 部長級以上で構成する経営戦略会議を庁内の横断的な意思決定機関として位置付け、関係機関と連携しながら子どもを育む環境づくりに力を注ぐとともに、子ども・若者政策を積極的に推進していく。

こどもまんなか社会を目指して

〈問〉多くの近隣自治体が未就学児の給食費を無償化しているが、本市でも実施すべきではないか。

〔市長〕 本市では、保護者の皆さまに負担していただいているが、国の制度による免除や、すこやか子育て支援事業での助成のほか、物価高騰に伴う保護者の負担増加の回避策として、昨年度に引き続き給食費の物価上昇相当分を補助する事業も実施している。なお、無償化に当たっては、継続的な一般財源の確保が必要となるほか、小・中学校の給食費との整合もあることから、保護者の皆さまに一定の負担をいただいている。本来、給食費に限らず、子どもに係る保護者負担については、国において統一した制度とすべきであり、自治体間で子どもや子育て世代の奪い合いとなるような状況は避けべきと考えている。



人口減少に負けず、市民の暮らしを豊かにする 大館市を目指し、デジタルを活用した福祉の 向上を



お ば た しんいち
小畑 新一
(公明党)

を持つ都市を目指すべきでは。

〔病院事業管理者〕 大館市にとって最新医療を住民に提供することは大きなメリットがある。また、小畑議員が言うように、医師確保にも有用である。これら2つの点から、ロボット手術導入については、経営改善を前提として、ぜひ導入に向け検討したい。

〔問〕 人口減少が続く大館市において、市民の暮らしを豊かにするために行政ができる手法、デジタル地域通貨の導入に対する考えは。

〔市長〕 デジタル地域通貨は、本市が進める行政と地域のDXに資する重要なツールと捉えている。先進事例を参考にしながら、早期の導入に向けた方向を示せるよう取り組む。

〔問〕 大館市の人口はこの7年で8%減少しているが、市の一般行政職員はわずかに増加している。これでは市民は納得できない。速やかに行財政改革を進めるべきでは。

〔市長〕 職員の適正配置に関する行政改革では、デジタル化の効果を最大限に得るために業務を最適化する。その上で、デジタル化やアウトソーシングを進め、行財政改革に取り組む。

〔問〕 総合病院に手術用ロボットを導入し、市民の安心感の向上と医師確保を実現し、二次医療の中核病院

〔問〕 健康ポイントを私が議会で提案してから7年が経過した。改善点として①認知症予防等をポイントに入れること、②健康に無関心な層へのアプローチの強化、③インセンティブの強化の、3点の見直しが必要ではないか。

〔市長〕 健康ポイント事業の開始から7年間で特定検診の受診率が13.4ポイント増加した。今後、商品券の金額の見直しを含め、より魅力ある事業となるよう検討し、市民の健康づくりに取り組む。

〔問〕 老朽化が進む保健センターの建て替えは、検診センターや総合診療所などの機能を持つ複合型にすべき。

〔市長〕 建て替えを検討する際には利便性や機能性、建設コストを考慮し、検診センターとの複合型施設とする案も含め、市民の健康や生活支援に資する拠点となるよう検討する。

大館市議会YouTube

検索

クリック

一般質問



「特殊詐欺」や「闇バイト強盗」などの防犯対策のため、関係機関との連携を強化するとともに、防犯カメラ付街灯設置費補助の検討を



く どう けんいち
工藤 賢一
(市民の風)

内会と連携した見守り・声掛け活動を実施している。防犯カメラ付街灯の補助については、録画映像の適切な管理も含め慎重に対応すべきと考ええる。

地域医療構想モデル推進区域指定に伴い、制度を活用して扇田病院の回復期・慢性期機能の存続を

〔問〕 県地域医療構想調整会議において、扇田病院における回復期病床の減少を地域でどのようにカバーするかが論点として提起された。地域医療構想モデル推進区域に対する財政支援制度を活用し、令和9年度以降も扇田病院の回復期・慢性期病床を維持・存続すべき。

〔病院事業管理者〕 扇田病院の40床体制への変更は患者数の減少や医療需要の変化に対応したもので、減床分のカバーは可能と考えている。モデル推進区域に対しては、国からの伴走型支援を受けて情報提供や財政的支援があることが明示されているが、現時点で県からの直接のアプローチはない。今後情報提供していたくことになっており、連携して対処してまいりたい。

〔市長〕 特殊詐欺対策として市では消費生活センターに相談員を配置し、出前講座の開催、通話録音装置の貸し出しなどを行っている。いわゆる闇バイト強盗対策としては、防犯指導隊による地域パトロールや町

市長になって3カ月の思いは



さきこうじ
佐々木 公 (令和会)

〔問〕グローバルビジネスマンから市長に就任して3カ月たったが、その手応えは。また、市役所のリーダーとして現在の思いは。

〔市長〕 9月1日に市長に就任し、すぐに9月定例会に臨み、その後も想像以上に目まぐるしい日程をこなす毎日である。私が掲げた五つの柱に関連する事業や政策的判断が必要なものについて各課から説明を受け、市長としての考えを伝え、一定の方向性を見出すことができたと考えている。大館市のかじ取りを担う責任とともに、やりがいを感じながら懸命に取り組んでいるところである。

〔問〕地域活性化について、大館市が元気な町として商工業が栄える方策についてどのように考えているか。

〔市長〕 市ではにぎわいある商店街づくり、寄与すべく、空き店舗の利

活用や創業に対して助成を行っている。昨年度は12件、本年度はこれまでに11件の出店や開業を支援してきた。空き店舗の利活用については、支援制度を見直しさらなるにぎわいづくりに取り組む。また、商工業の振興には市外の民間企業の投資促進も重要である。多種多様な企業の誘致で、人材の呼び込みや大館を起点に物流で北東北と世界をつなぐ大館駅インランドデポの整備を推し進めていくとともに、秋田犬や比内地鶏、きりたんぼなどの地域資源を活用した観光振興や交流人口のさらなる拡大など、さまざまな事業を展開しながら大館の魅力を高め、広く発信し、町の活性化につなげていく。



一般質問

市のホームページへ掲載する会議録でもご覧いただけます。（2月下旬に掲載予定）



いまいづみ まきこ
今泉 まき子 (日本共産党)

少子化対策についての今後の具体的施策は大館駅2番線のエレベーターの完成予定は市内小・中学校のトイレ洋式化率向上についてほか

〔問〕市内小・中学校のトイレについては、児童生徒の学校生活環境の向上のためにも早急に洋式化すべきと考えるが、今後の計画は。

〔市長〕 今後の改修に当たっては、令和10年度までの年次計画に沿って引き続き洋式化率70%を目指して進めていく。

〔問〕会計年度任用職員制度の事務処理マニュアルが改定され、3年目公募規定が撤廃された。市役所の実態はどうか。雇用の安定化を図るためにも公募の見直しを進めていくべきでは。

〔市長〕 本市の会計年度任用職員は4月現在、病院、消防を除いて509人。割合は約45%で、男性104人、女性405人。事務補助や相談員、保育士や学校配置の教育支援員等が全体の約60%である。任期は最長1年であり、地方公務員法の原則を踏まえると、公募による選考も必要と考える。業務内容によっては資格が必要な職種もあり、3年経過後も公募において任用中の方が再度応募することを認めており、勤務成績等も加味した上で判断している。今後業務内容や勤務成績、住民ニーズ等を考慮しながら任用していく。

〔問〕来年度に向けて、少子化対策について具体的に検討していることは。負担軽減のため、学校給食の無償化、子どもの医療費助成の拡充、国保世帯の子どもの均等割の廃止を検討してはどうか。

〔市長〕 市ではこれまでも妊娠期間から子育て期まで切れ目なくさまざまな取り組みを進めてきた。給食費・医療費については国の動向を注視していく。国保の子どもの均等割については慎重に検討していく。少子化対策の具体的取り組みについては来年度の予算編成の中で具体化を進めていく。

〔問〕大館駅2番線のエレベーターの完成予定はいつか。

〔市長〕 JR東日本からは12月19日から供用開始の見込みと聞いています。

市長選について再度問う



たむら のりみつ
田村 儀光
(真政会)

〔問〕 9月議会に引き続きリーフレット等の内容について再度質問する。9月議会後「経歴・学歴をはっきりさせるべき」「いじめるな」等、多くの市民の声が届いている。どうか市民が納得できる説明、答弁を。

〔市長〕 私の学歴に関して、私自身が過去に発信した情報については法令に抵触する内容があったとは認識していない。

基幹産業である農林業について

〔問〕 農業については3年前国の新たな戦略で有機農業の推進が打ち出され、前市長の英断で令和4年度から3年間予算措置され現在に至っている。令和7年度以降も予算措置し、新たな農業の推進をすべきと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 オーガニックビレッジを目標とすることにより国のみどりの食料システム戦略交付金を活用できるようにすることは、本市の有機農業

を推進する上で有効な手段の一つになると捉えている。今後、生産農家の皆さまにも御協力いただき、地域内で生産された環境に優しい有機農産物を学校給食に提供できるよう、関係団体等と連携して取り組んでいく。

〔問〕 木材利用促進については令和5年度から3年間、国の補助事業の採択(全国8カ所)を受け、専門のアドバイザー3名の派遣を受けているとのこと。現状報告を。

〔市長〕 専門のアドバイザーによる非住宅建築物の木造化に対する課題の洗い出しを行い、来年度から相談窓口等の運用開始を目指している。

〔問〕 合併して20年、町内会の在り方を行政協力員制度の見直しを含め検討すべきと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 御指摘のとおり、行政協力員設置規則に定めている基準世帯数と実情が異なっている行政区もあり、今後行政協力員制度についても見直していく必要があると考えている。町内会のあるべき姿については内部体制の整備を含め検討を進めているところである。

〔問〕 たばこ税は毎年5億円以上の税収がある。喫煙者も大館市民であり、住民である。市役所周辺に喫煙所の設置を。

〔市長〕 喫煙所の設置については、住民の理解を得ることが難しいものと考えている。

大館市議会YouTube

検索

クリック

一般質問



さとう よしただ
佐藤 芳忠
(市民の風)

- ① この10年不登校児は増え続け、イジメが悪質化しているのはなぜか
- ② 「金箔850枚の親子像」と「純金20グラムの親子像」の公開について
- ③ ビジネスクラスでのアメリカ視察について

〔問〕 10年前の不登校児は40人。去年は119人。この10年間で小中学校の不登校児は79人も増えています。昨日、教育長は当市の不登校出現率は県や国の平均より低く、全国比も少ないと答弁しましたが、全国や県より低いから良いではなく、119人の不登校児を減らすことを考えなくてはなりません。不登校児は10年間増え続けているのですから。

5年度、小中学生3909人にイジメ調査した結果、344人もがイジメを受けた事があると回答し、暴力、たかり、脅しなどのイジメを受けたとのことでした。イジメで子供達の命が失われており、イジメと不登校問題は、キャリア教育以上に力を入れなくてはならない大きな問題です。

〔教育長〕 このようなご質問はぜひ国会でやってほしいと思います。イジメの悪質化ケースは、躊躇なく

捜査機関に通報することが肝要です。

〔問〕 今の教育長の答弁を聞いてがっかりしました。全くイジメや不登校に無関心だということがわかりました。市の小中のいじめや不登校については、国会に聞くべきだと言いましたが、これは教育長としては絶対言っちゃいけない答弁です。小中学生の面倒をみるのは国会議員じゃなくて教育委員会です。そのトップが教育長です。ですから国会に云々というのは、これはもう論外です。

〔教育長〕 中学生のイジメ、中学生で喧嘩まがいのことで、そういうことになるケースはあります。でもそれは件数も少ないし、おそらく適切に処置されていると思います。

〔問〕 純金箔850枚の値段は約52万円、純金20グラムの値段は約29万円ですがありません。展示公開すべきと考えます。

〔市長〕 純金の像は、秋田犬の里の金箔の像と一緒に展示します。

〔問〕 4人分395万円の米国視察を福原市長が認めたため、市長と認定農業者会の2名はビジネスクラスでの旅費が認められましたが、若手農業者を視察させるべきでないですか。

〔市長〕 4泊を3泊にし、旅費の圧縮に努めてまいります。

令和7年度予算編成での通常経費5%削減は、 物件費などを対象から外すべき



いわもと ゆうじ
岩本 裕司
(市民の風)

〔問〕 物価高が進行している中、市の業務を担っている方々の賃金をマインス査定の対象とするのはいかがなものか。安易な削減に頼らず、内部業務のスクラップや職位の見直しを行うべきでは。

〔市長〕 予算編成に当たっては、来年度の市税や地方交付税など歳入の見込み額を算出し、財源不足とならないよう各部署に指示している。設備維持管理委託料など増額せざるを得ない項目もあるが、上昇率などを勘案し過大要求はないか見極めながら適正に査定していく。限られた財源を有効活用し、地域経済の活性化を第一に「子や孫世代と共に栄える大館」の実現に向けた予算編成をしていく。

〔問〕 高齢化社会では生きがいや豊かさ、安全・安心などの幸せの要素や住み慣れた地域で暮らし続けるための雇用、まちづくり、コミュニティなどの構築、高齢単独世帯の看取りや死後の手続きなど、時期や

選択肢を広げて捉える必要がある。個々人が安心して納得できる環境をつくるのが包括ケアの一丁目一番地ではないか。

〔市長〕 高齢者の孤独感や不安の解消を図るため、移動支援などの生活支援事業や見守り体制の整備、通いの場や居場所づくり、支援が必要な高齢者を地域で支え合う体制の整備を進めており、今後も充実・強化を図っていく。また、安心して自分らしい人生の最期を迎えられるよう、アドバンス・ケア・プランニングに多職種で連携して取り組んでいく。

〔問〕 物価高による負担増に対し、国では低所得者への現金給付や減税措置などを行っているが、苦しさは解消されていない。住民税非課税世帯や均等割のみ課税世帯が対象だが、わずかなところで非課税にならない世帯への対策を検討するべきではないか。

〔市長〕 国の交付金を活用し、住民税非課税世帯や住民税均等割のみ課税世帯に対する給付や、所得税・住民税の定額減税をしきれなかった方に対する調整給付を行った。また、市独自の取り組みとして、保育園や小・中学校の給食費値上がり分に対する支援を実施した。今後、国から新たな交付金の配分額が示される予定であり、必要な支援策を適切なタイミングで実施していく。

一般質問

市のホームページに掲載する会議録でもご覧いただけます。（2月下旬に掲載予定）



すがわら よしひろ
菅原 喜博
(令和会)

〔問〕 食料・農業・農村基本法が改正され、食料の安定供給の確保や農業の有する多面的機能の発揮などが基本理念として掲げられている。この理念に応えるためには土地改良事業の着実な推進が必要不可欠である。また、国土や美しい農村風景の保全など「農業・農村の有する多面的機能」を維持すべく行われている地域共同活動についても、本市農業の持続的発展に向けて必要であり継続的に支援すべき。

〔市長〕 食料・農業・農村基本法が改正され、食料の安定的な供給と食料自給率の向上が骨子の一つとなっている。土地改良事業は農業のハート面の改善を図り生産性の向上や農業構造の改善など、農村振興だけでなく災害の未然防止にも資する事業である。農地や農業用施設が有する洪水を抑制する機能を強化するとい

農業の持続的な発展に向けた取り組みについて 兼任集落支援員制度を導入してはどうか

う意味においても、土地改良事業の計画的実施、早期着工を国や県に要望していく。また、農業や農村は自然環境、景観、豊かな水資源の保全、文化の伝承などさまざまな恵みをもたらしていることを私自身も強く感じており、このような多面的機能を次世代に引き継いでいくためにも引き続き地域が共同で行う活動を支援していく。

兼任集落支援員制度を導入してはどうか

〔問〕 町内会長や役員等が集落支援員を兼務する兼任集落支援員制度は、地域の維持・活性化に資する制度である。町内会の在り方が問われる中、行政と町内会をよりスムーズにつなぐという意味でも導入を進めるべき。

〔市長〕 兼任の集落支援員に限らず集落支援員制度の導入に当たっては、先進的な取り組みや域活性化に高い意欲を示す地域をモデル地域として導入できないか検討し方向性を示す。地域コミュニティの維持・活性化においては住民が自ら考え、決断し、行動するという住民自治の原点が重要であると考えている。

常任委員会から

総務財政常任委員会

空き公共施設の利活用について

空き公共施設の利活用状況を確認するため、旧大葛小学校を現地調査した。指定事業者から地域資源を活用した食品加工やイベントなどの事業計画について説明があり、委員からは地域振興・活性化にもつながる取り組みであるとの声があった。



(旧大葛小学校にて)

令和7年度行政組織機構改正(案)について

令和7年度実施予定の行政組織機構改正(案)について説明があった。総務課は新庁舎建設推進室を廃止し、また町内会が抱えるさまざまな課題に対応するための相談体制を強化する。福祉部子ども課は「こども家庭センター」を設置し、子育て世代包括支援センターさんまあると子ども家庭総合支援拠点ほっとの機能

厚生常任委員会

を集約する。都市計画課はまちづくり課を組み入れる形で再編し、新設する建築住宅課に住宅・建設に関する業務を移管する。環境課はし尿処理の業務が新しく建設されたし尿受入センターに切り替わるため、現行のし尿処理場の係を廃止する。

新斎場整備事業について

建設工事のスケジュール等について、市民課から報告を受けた。工事は順調に進んでおり、敷地整備はほぼ終わり、駐車場や通路の地盤改良等は今年度末までの予定である。建築・電気設備・機械設備工事は令和7年度から本格化し、8年1月末の竣工後、準備期間を経て8年4月からの供用開始を予定している。

扇田病院現地調査



(扇田病院にて)

教育産業常任委員会

修繕費などの補正予算の審査に当たり、老朽化が進む病院設備の現状を現地調査した。

大館駅インランドデポ整備事業について



事業用地の取得について審査するため当局に説明を求めた。取得するのは大館駅南側の約1・7ヘクタールの土地であり、大館貨物駅を拡張し保税蔵置やコンテナヤードを整備することにより、物流の低コスト化や効率化を推進する。また同時に、海外から非鉄金属のリサイクル原料を運び入れる往路と、北東北の製品や農産物を海外へ送り出す復路の構築を図っていく。用地取得後、整備の概算設計を行い国に要望する。

そのほか、大館能代空港運賃助成事業費や小中学校LED照明化事業費の追加についても審査を行った。

建設水道常任委員会

まち・すまい協議会の取組状況について

本協議会では産・学・官が連携し、住生活に関わる主要な課題に対する施策の推進や課題解決に向けた取り組みを行っている。老朽化市営住宅建替え事業では、片山住宅と御成町住宅の集約による建て替えを進め、今年度は居住世帯への個別説明を実施し、来年度から移転、令和9年度からの建て替え工事を予定している。また、住宅セーフティネットの構築を目指し、居住支援協議会の設立を目指している。

そのほか、歴史まちづくり事業や大館市し尿受入センター整備事業の進捗事業等について報告があった。



議会報告会を開催します



【日 時】 令和7年2月16日（日）14：00～16：00

【場 所】 ・中央公民館（視聴覚ホール）
・比内公民館（第9研修室）
・田代公民館（集会室）

※3会場で同時に開催します。

今回のテーマは

- ◆ 大館市の財政状況
- ◆ 町内会
- ◆ 病院事業
- ◆ 大館駅インランドデポ推進事業
- ◆ 道路等包括管理業務委託
- ◆ 議員定数

についてです。



（昨年の議会報告会の様子）



3会場ともテーマは同じです。
事前申込などは不要ですので、好きな
会場へお気軽にどうぞ。



議員の呼称を

「～君」から「～議員」へ

最初に「君（くん）」を使い始めたのは、松下村塾の吉田松陰と言われているが、身分に関係なく対等に相手を敬う呼称として「君主」などの「君（くん）」を採用したとされています。議会で「君（くん）」が使われるようになったのは初代内閣総理大臣となった伊藤博文の影響と言われています。伊藤博文は松下村塾の塾生でした。

今回、大館市議会では女性議員が増えてきたことや、全国的に呼称を変更する議会が増加してきていることなどから、呼称を「～議員」に変更することとしました。

そもそも…



私もひ・と・こ・と 第56回

ほんだはるな 本田春菜さん (釈迦内)



「秋田に移住してから 日々と今思うこと」

秋田に移住し、今年で11年目を迎えます。寒さにはだいたい慣れたつもりですが、初雪の降る季節には毎年身体が堪えます。ですが、大館の真っ白な雪景色と鳳凰山を背景に真冬の澄んだ青空が私は大好きです。雪国ならではの良さがあります。季節と向き合っている、四季を楽しむということを大館での生活から教えてもらいました。娘たちとは、幼稚園時代から毎週末スキー場へ遊びに行き、スキーやスノーボー

ドで雪山を駆け回っています。雪景色を眺めながらたき火をしたり、きりんぽを食べたり、冬のお楽しみは盛り沢山で、こんな経験なかなか出来ないよと娘たちにお話しています。

「雪がこんなに降って大変でしょう？」と心配するお声がけをたくさんいただきました。除雪や雪道の運転等には特に大変ですが、それら一つひとつのやり方を地域の皆さまに教えてもらい、助けていただきました。大変さ以上に学びや感謝が大きいのが実感です。春は田植え、夏は伝統のお祭り、秋は稲刈り、冬は干し柿やお漬物をこしらえる、そういった季節ごとの行事や習慣が私には新鮮で、東京に住んでいた頃より、「日々を大切に生きる」ということを体感できています。

娘たちは大館幼稚園を卒園し、現在は釈迦内小学校に通っています。大館幼稚園ではキリストの教えがベースとなり、「遊び」を通じて考える力を育てていただきました。何もない環境で

結婚を機に秋田県大館市に移住。職業はフィットネスインストラクター。趣味は身体を動かすこと全般、料理、読書。

も遊びを考え出して楽しんでいる娘たちは、親の私が想像する内容をはるかに越えていてたくましいです。また、娘たちは小学校が大好きで一度も休みたいと話したことはありません。私が学校生活の話を聞いていて感心したことは、大人対子ども、年上対年下といった壁があまりなく、対等にコミュニケーションが取れていることです。良いことも悪いことも、対等に話し合っていると実感します。一方通行にならない人間関係の築き方は社会に出て生かされる経験だと思っています。最後になりましたが、これまでの10年間に関わってくださった皆さまに心から感謝いたします。今後とも変わらぬようよろしくお願いいたします。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

本会議はどなたでも傍聴できます

本会議傍聴の受け付けは、開会の15分前から行います。
市役所5階の傍聴席入り口で、受付簿に住所・氏名をご記入いただくことで、どなたでも傍聴できます。
ぜひ、お越しください。



※座席数には限りがあります。
また、傍聴席での発言や拍手、写真撮影等は禁止されていますのでご注意ください。

編集後記

昨年の12月議会から、本会議（議案の審議や一般質問など）の様子をYouTubeで視聴できるようにしました。これまでもFMラジオおおだてや、大館ケーブルテレビで放送されていました。市内の一部に限られていました。動画配信により議会の活性化を図り、開かれた議会を目指すことを目的としています。

さまざまなメディアを通じて、市民の皆さまが議会への理解を深め、より議会を身近に感じていただけるよう、頑張っています。



(伊藤 深雪 記)